

## 6月8日

## 練習の成果を存分に 庶路学園運動会

庶路学園の第7回運動会が同校グラウンドで行われました。

運動会は紅白に別れて、個人や団体競技が行われたほか、地域や園児参加の「20m走」や保護者対生徒による「ガチンコ綱引き」などで盛り上りました。フィナーレは1~4年生までと5~9年生までによる男女混合リレーで、白熱した戦いが繰り広げられました。

運動会に向けて練習を積んできた児童生徒は、保護者からの声援を背に、普段以上の力を見せていました。



1



2



3



4

①1~4年生の「庶路っ子ソーラン」。よさこいソーランを元気よく踊っていました。②5~9年生の「長縄跳び」。③1~4年生の男女混合リレー。④5~9年生の男女混合リレー。白熱したレース展開に多くの声援が送られていました。

## 6月5日

## 公共施設にAED配備 使用方法を学び命を救う

町は、心停止になった人に電気ショックを与えるAED（自動体外式除細動器）をやまびこ会館や集会所など、町内の23施設に配備しました。

この日は、施設管理者を対象としたAEDの操作説明会が白糠消防庁舎で開かれ、参加した17人が2人1組になり、訓練用の人形を使ってAEDの使用方法や手順などを学びました。



人形を使い救急救命の流れを模擬体験する施設管理者

## 6月3日

## 豊かな森林を未来に引き継ぐ 白糠学園の児童トドマツ植樹

北海道が取り組んでいる「道民ひとり1本植樹・育樹運動」として、白糠学園の1年~4年生がトドマツ80本を学校西側の町有地に植えました。

この日は、釧路総合振興局産業振興課の職員と役場林業係の職員がサポートにあたり、児童たちがトドマツの苗を丁寧に植えました。植樹後は森林の働きなどについての講話を聞き、環境への理解を深めました。



「大きく育ってね」とトドマツを植える園児

## 6月12日

## 園児が異文化を学ぶ アイヌ文化体験講座

こども園の園児に異文化を体験してもらおうと「アイヌ文化体験講座」がウレシバチセで行われました。

講座には、白糠こども園と庶路こども園の園児27人が参加し、アイヌ文化をテーマにしたDVDを鑑賞したほか、アイヌ文化保存会の会員指導の下、きつねの踊りや輪踊りを体験しました。園児たちは「楽しい」「またやりたい」と笑顔で話していました。

「みんなにも驚きの森を知らせたい」と下向さん（右）

## 6月15日・16日

## まき窯のピザに舌鼓 驚きの森ピザ祭り

上茶路の「驚きの森」で15・16日の両日、「ピザ祭り」が開かれ、初日から多くの人が訪れました。

まき窯の本格ピザが味わえるイベントで、自家製パンチエッタとゴボウをトッピングした「山のピザ」が限定メニューとして販売され、人気を集めました。

釧路市から初めて訪れた下向政之さんは「人が多くて驚きました。ピザもおいしいです」と笑顔でした。



きつねのしっぽをつけて笑顔で踊る園児たち

## 6月7日

## 電話の声を聞きやすく 明治安田生命サウンドアーチ寄贈

明治安田生命保険相互会社から「サウンドアーチ」を1台、町に寄贈していただきました。

サウンドアーチとは、電話の話し声を聞きやすいように変換し、高齢者でも聞き取りやすくする機器です。

この日は、樋口主馬春採営業所長と戸井里史チーフが役場を訪れ、湊谷雅浩保健福祉部長に機器を手渡しました。機器は役場介護福祉課に設置します。



島田邦明理事（左）から掘削の説明を受ける参加者